

別紙

I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	地域活性化措置	京極町国民健康保険診療所維持運営事業	京極町	59,326,934	40,000,000	

(備考)事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	地域活性化措置	京極町国民健康保険診療所維持運営事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		京極町	
交付金事業実施場所		京極町字京極	
交付金事業の概要	診療所の医師・看護師等の人件費(医師2名・看護師9名・放射線技師1名・事務職2名)7ヶ月分。 京極町の1次医療機関として、医療スタッフの安定的な確保と地域医療の充実と更なる推進を図るため電源立地地域対策交付金を活用しています。		
総事業費	59,326,934	交付金充当額	40,000,000
		うち文部科学省分	
		うち経済産業省分	40,000,000
交付金事業の成果目標	京極町においては、住民の高齢化などにより将来的に有病率の増加が想定されるところであり、適切な医療の提供と体制の構築が重要な課題となっています。当診療所は京極町の1次医療機関として、プライマリ・ケア医による総合的な診療、入院病棟の設置を行っており、また、「地域に寄り添う医療」の推進のため、往診の実施、高齢者福祉施設の回診、地域包括支援センターとの積極的な連携(看護師派遣)を行っています。しかしながら、これらを今後も継続して実施していくためには、現在の医師・看護師等の人数を維持することが最低限必要であることから、本交付金を活用し、医療スタッフの安定的な確保を図り、地域医療の充実と更なる推進により、住民福祉の向上を図ることが目標となります。		
交付金事業の成果指標	本交付金事業によって成果目標を達成するには、医師不足の解消と看護師の確保が必要となるため、本交付金を活用し、医師2名・看護師9名・放射線技師1名・事務職2名の給与にかかる財源を安定的に確保し、その体制の維持を図ります。		
交付金事業の成果及び評価	高齢化が進行している本町においては、公立医療機関として、町民にとって必要な質の高い医療を安定的に提供する役割を継続して担うことが求められています。広域的な医療連携が必要不可欠な中において、基幹的医療機関として当診療所の位置づけは重要なものであり、平成29年度の対象事業期間(6月~12月)患者数は約8千人に上ります。また、往診の実施や高齢者福祉施設の回診を行うことで、高齢者の安心と安全の確保に一定の成果を挙げています。本事業の実施により医師2名・看護師9名・放射線技師1名・事務職2名を確保でき、「地域に寄り添う医療」の推進のための往診の実施、高齢者福祉施設の回診、地域包括支援センターとの積極的な連携(看護師派遣)を実施することができました。今後も、当該事業が電源立地地域対策交付金を主財源として実施されている旨を町民や医師・看護師等に周知徹底し、医療スタッフの安定的な確保に繋げていくものとします。		
交付金事業の契約の概要			
	契約の目的	契約の方法等	契約の相手方
	人件費	雇用	医師2名・看護師9名・放射線技師1名・事務職2名
			59,326,934
		計	59,326,934
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無	無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	H33